



毎日、発明する会社

2020年4月期

第1四半期決算説明資料

フリービット株式会社

2019年9月13日

1. 2020年4月期 第1四半期 連結業績 . . . 3
2. 2020年4月期 第1四半期 セグメント別業績及び事業進捗 . . . 16
3. 2020年4月期 連結業績進捗 . . . 28

略称について

略称	社名及び説明
FB	フリービット(株)=当社
FBG	フリービットグループ
ALC	(株)アルク=完全子会社
DTI	(株)ドリーム・トレイン・インターネット=完全子会社
FBEPH	(株)フリービットEPARKヘルスケア=子会社
FBEPHG	フリービットEPARKヘルスケアグループ
FBI	フリービットインベストメント(株)=完全子会社
BI	(株)ベッコアメ・インターネット=完全子会社
IJK	(株)医療情報基盤=完全子会社
TM	トーンモバイル(株)=持分法適用関連会社
FS	(株)フルスピード=東証二部上場の子会社
FSG	フルスピードグループ
FI	(株)フォーイット=(株)フルスピードの完全子会社
CR	(株)クライド=(株)フルスピードの完全子会社
FSL	(株)フルスピードリンク=(株)フルスピードの完全子会社

略称	社名及び説明
GP	(株)ギガプライズ=名証セントレックス上場の子会社
GPG	ギガプライズグループ
FM	(株)フォーメンバーズ=(株)ギガプライズの子会社
SV	(株)ソフト・ボランチ=(株)ギガプライズの完全子会社
GT	(株)ギガテック=(株)ギガプライズの完全子会社

略称	セグメント名
Infra	インフラテック事業
RET	不動産テック事業
ADT	アドテック事業
HT	ヘルステック事業
ET	エドテック事業

1. 2020年4月期 第1四半期 連結業績

2020年4月期 第1四半期 連結業績

(単位：百万円)	20年04期 第1四半期	19年04期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	13,386	10,435	+ 2,951	28.3%
EBITDA	803	709	+ 93	13.2%
営業利益	333	401	△ 68	△ 17.0%
経常利益	286	172	+ 113	66.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△ 180	△ 147	△ 32	—
1株当たり純利益	△ 8円14銭	△ 6円66銭	△ 1円48銭	—

2020年4月期第1四半期連結業績は、エドテック事業開始及び不動産テック事業のマンションインターネットが堅調に推移したことにより前年同期比売上高28.3%増

- ・売上高：エドテック事業開始及び不動産テック事業の拡大により増収
- ・営業利益：エドテック事業の季節要因及びインフラテック事業利益減により前年同期比17.0%減
- ・経常利益：持分法による投資損失減少等により前年同期比66.1%増
- ・親会社株主に帰属する：経常利益増も、非支配株主に帰属する四半期純利益増加により四半期純利益前年同期比32百万円減



連結業績

- ・売上高は、エドテック事業開始及び不動産テック事業の拡大により前年同期比28.3%増
- ・営業利益は、前第3四半期に開始したエドテック事業の季節要因及びインフラテック事業の利益減により前年同期比17.0%減



不動産テック事業

- ・マンションインターネットが牽引し前年同期比売上高57.1%増、セグメント利益大幅増を達成



ヘルステック事業

- ・FBEPHの成長により売上高は順調に推移し、前年同期比14.9%増
- ・FBヘルステック事業の体制強化等によりセグメント損益は前年同期比24百万円減

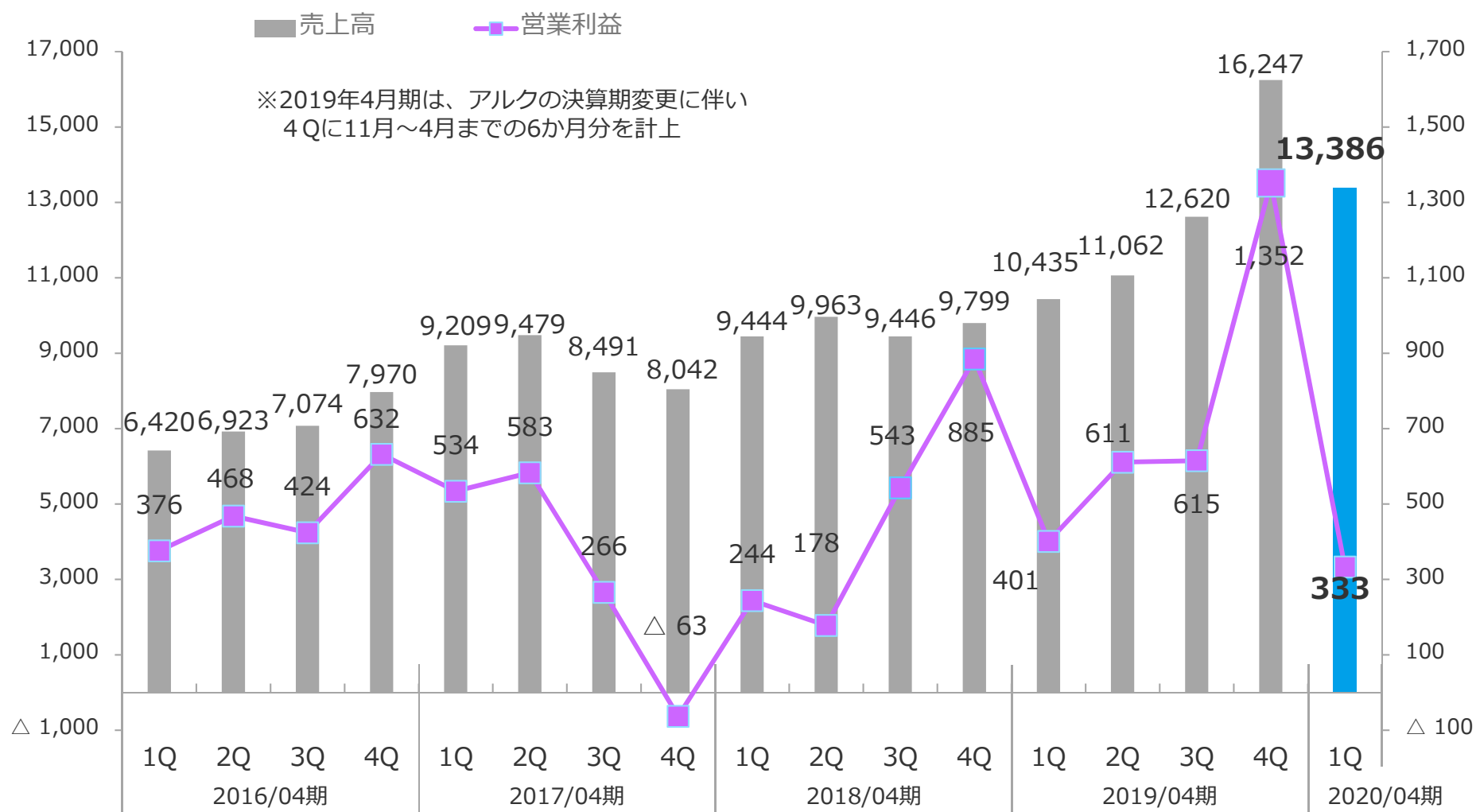


エドテック事業

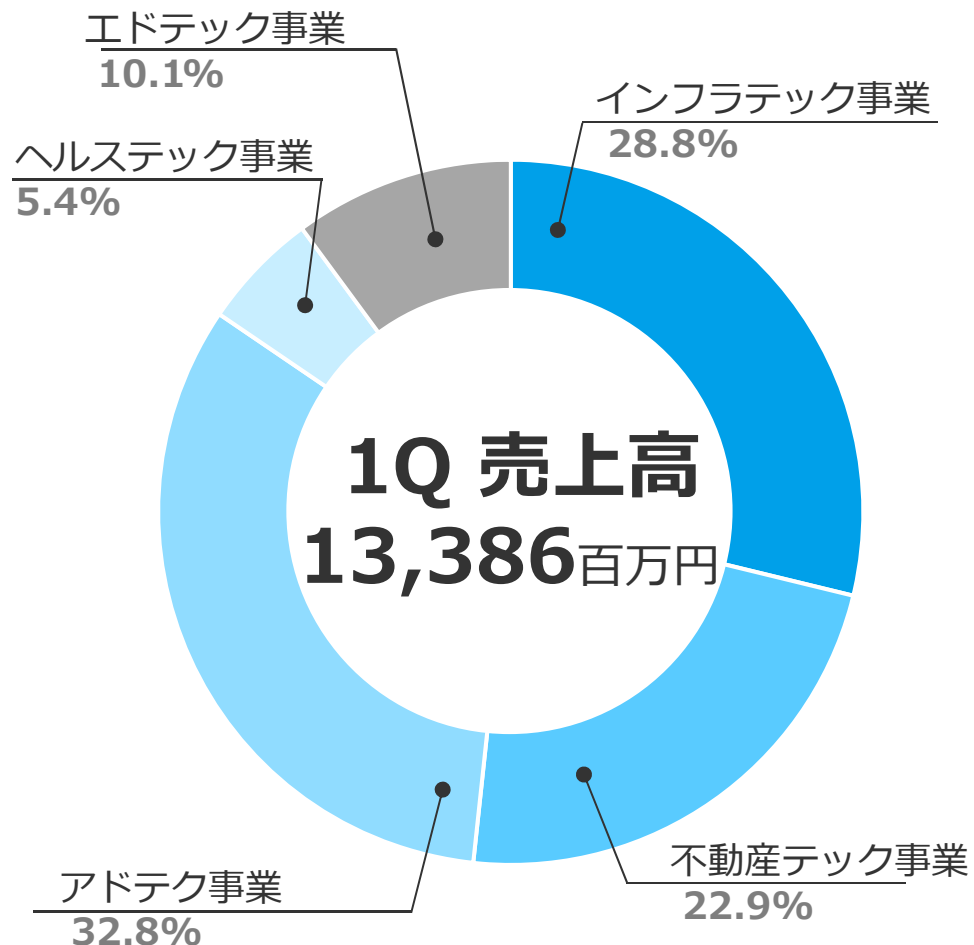
- ・新報告セグメント「エドテック事業」として売上に貢献
- ・第1四半期は損失計上するものの、第4四半期に利益が集中するビジネスモデルのため通年では黒字を計画

売上高は前年同期比28.3%増を達成

(単位：百万円)



不動産テック事業の拡大が増収を牽引

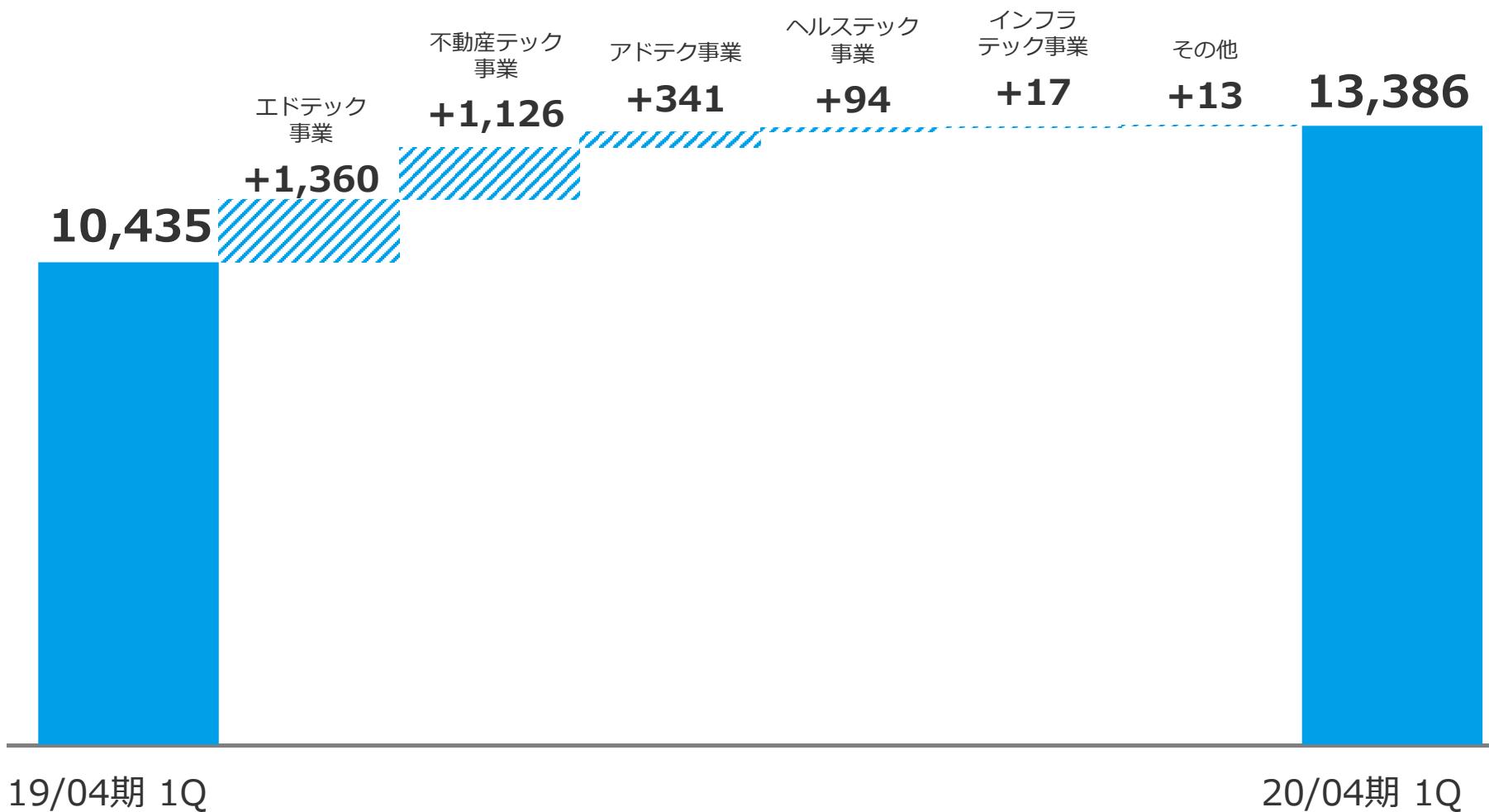


売上高	セグメント損益
インフラテック事業	
3,886 百万円 YoY +0.5%	133 百万円 YoY △45.1%
不動産テック事業	
3,097 百万円 YoY +57.1%	303 百万円 YoY +2339.8%
アドテク事業	
4,437 百万円 YoY +8.3%	182 百万円 YoY △27.9%
ヘルステック事業	
729 百万円 YoY +14.9%	△136 百万円 YoY △24百万円
エドテック事業	
1,360 百万円	△156 百万円

※エドテック事業については、事業開始が前第3四半期のため前年との比較は省略

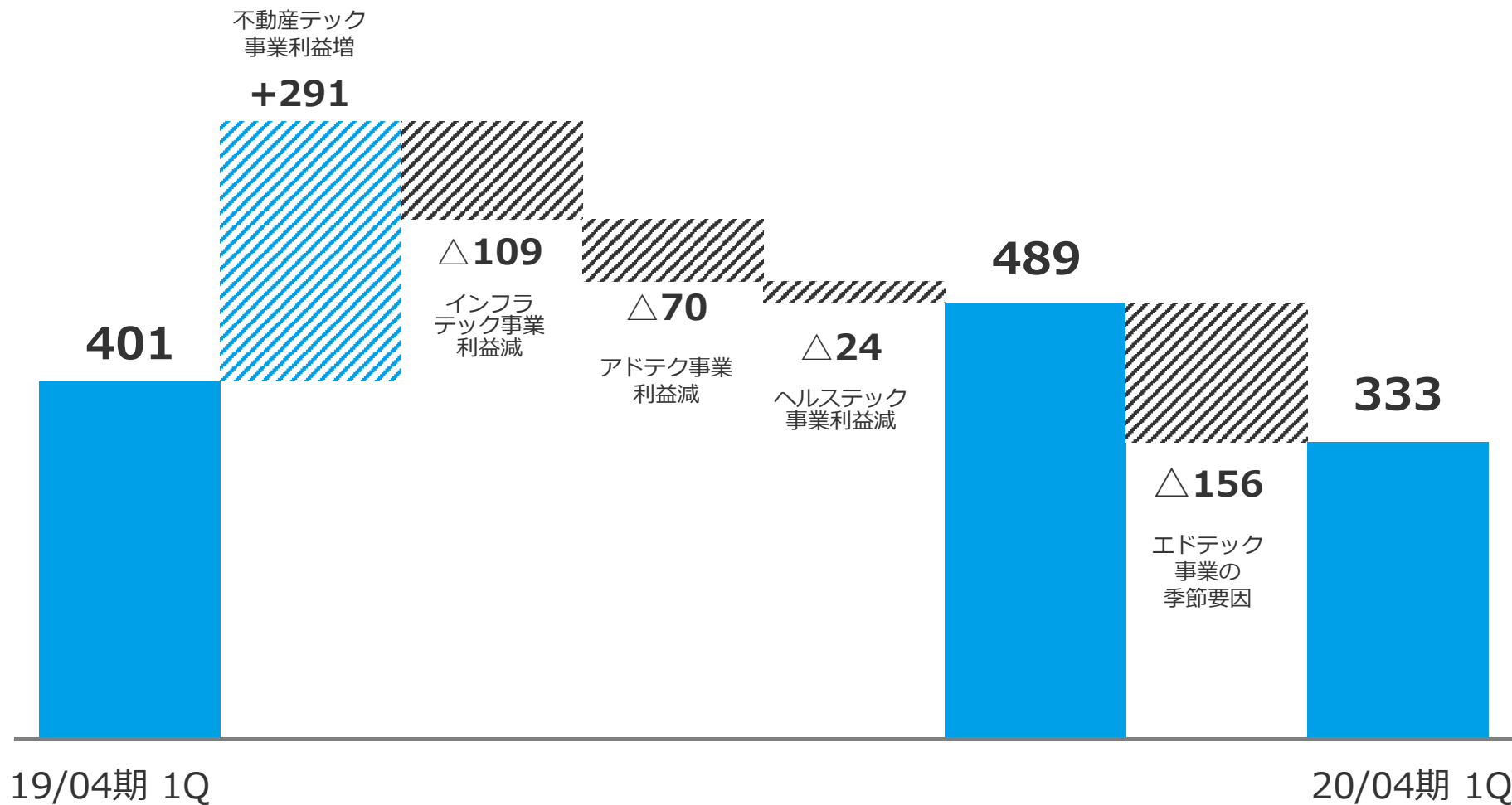
エドテック事業開始による売上増に加え、不動産テック事業の拡大により前期比28.3%増

(単位：百万円)



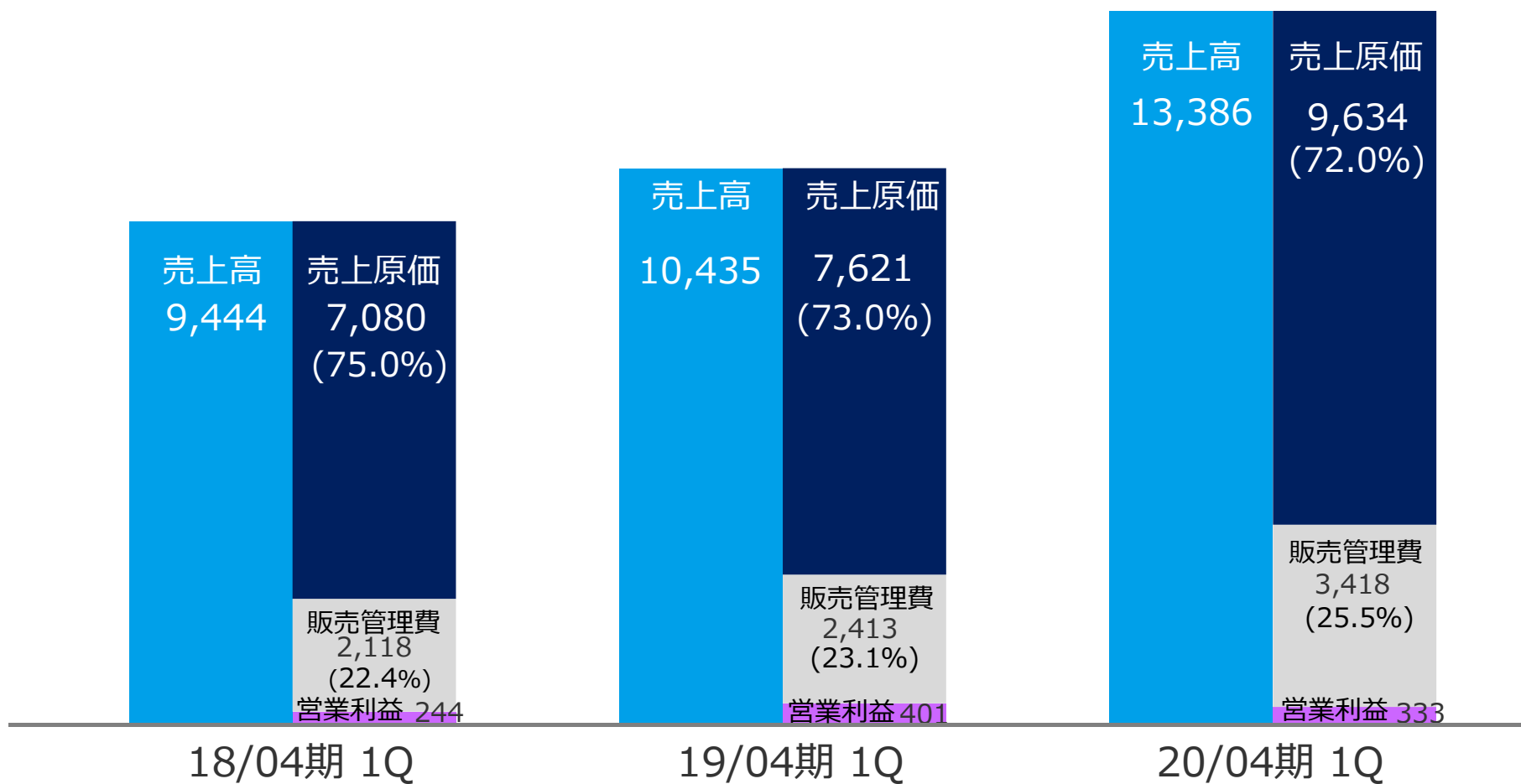
エドテック事業の季節要因及びインフラテック事業利益減により 前年同期比17.0%減

(単位：百万円)



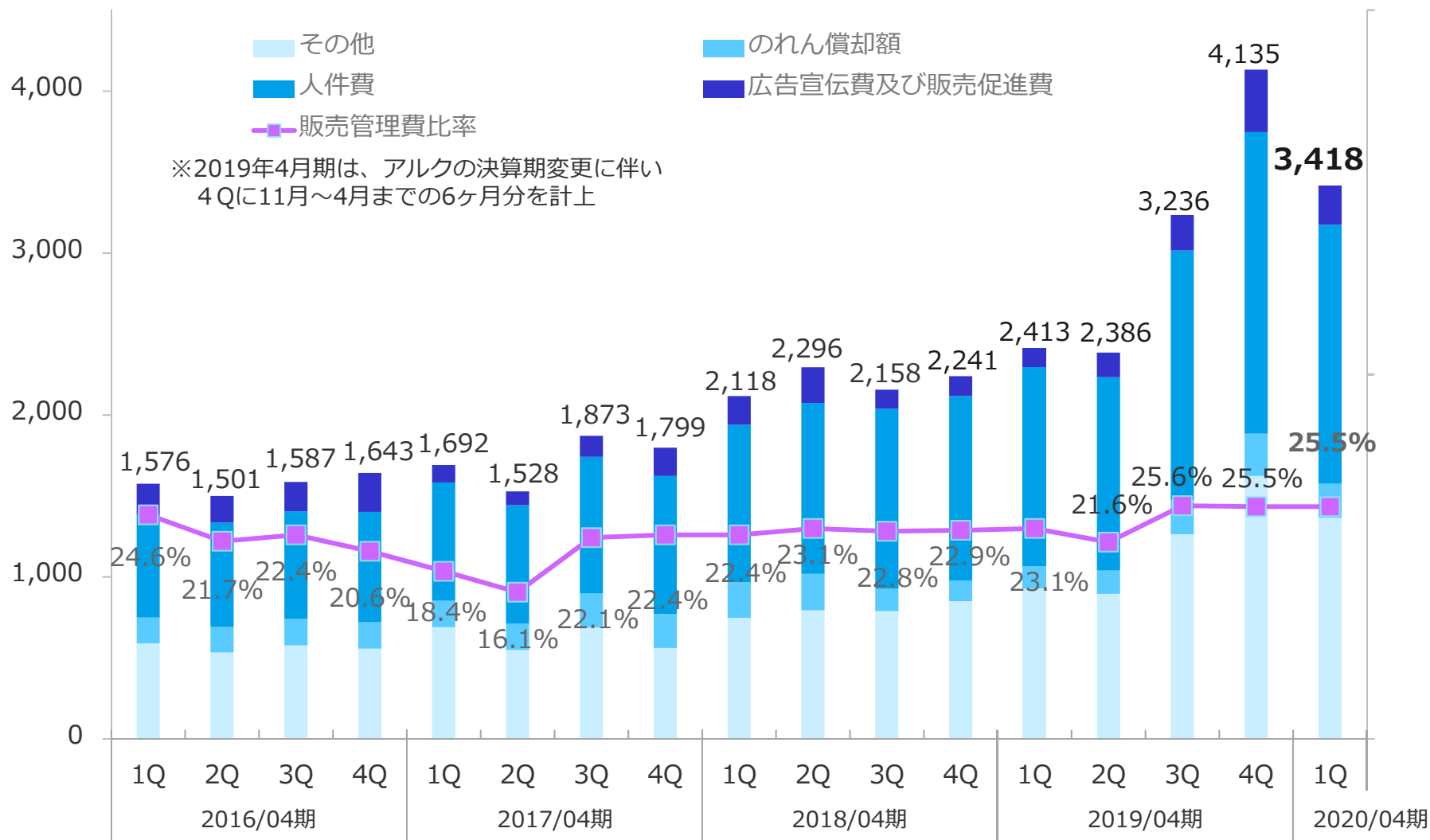
エドテック事業開始に伴い、事業規模が拡大

(単位：百万円)



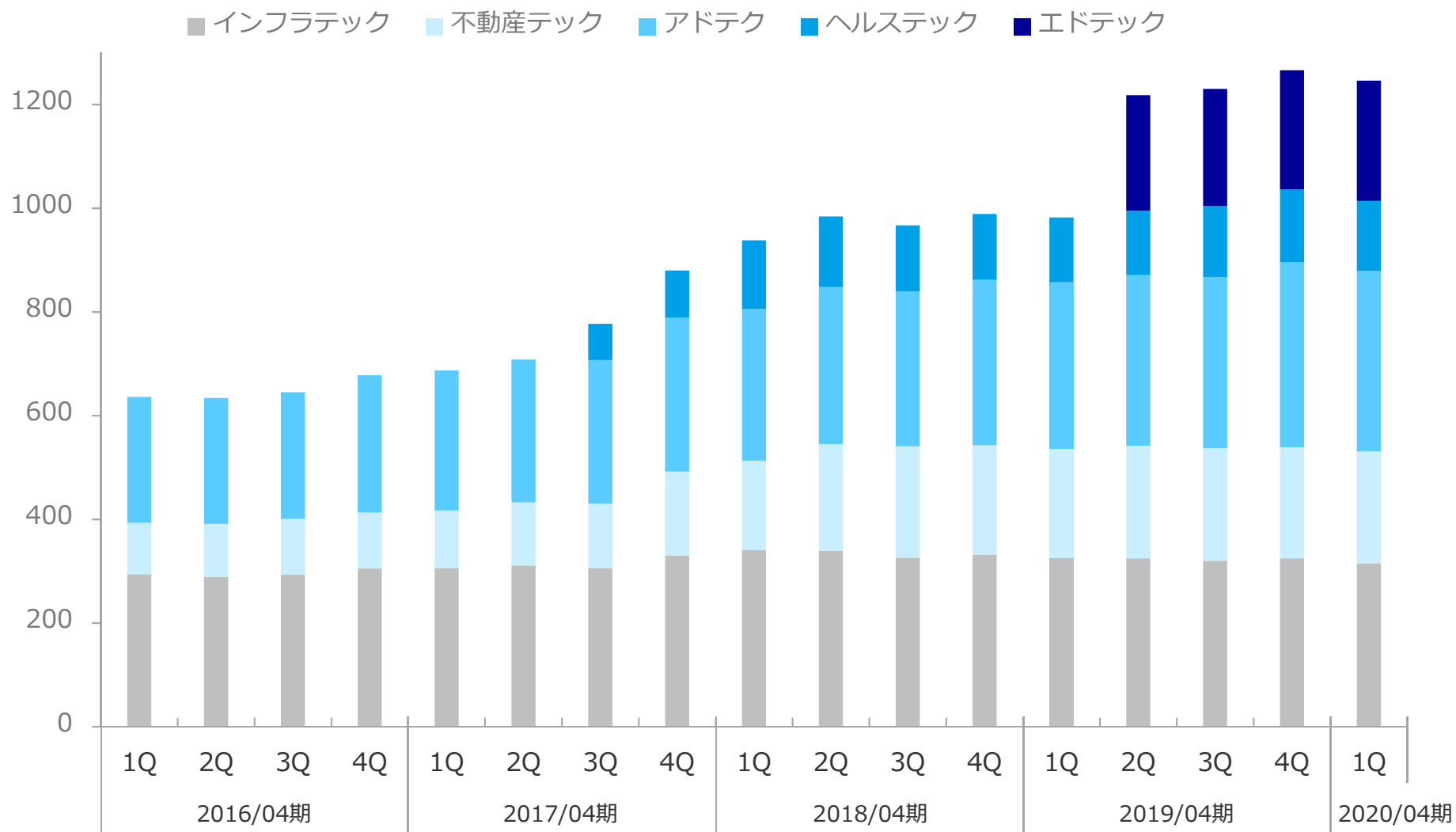
エドテック事業開始に伴う人件費及びのれん償却額増により前年同期比41.7%増

(単位：百万円)



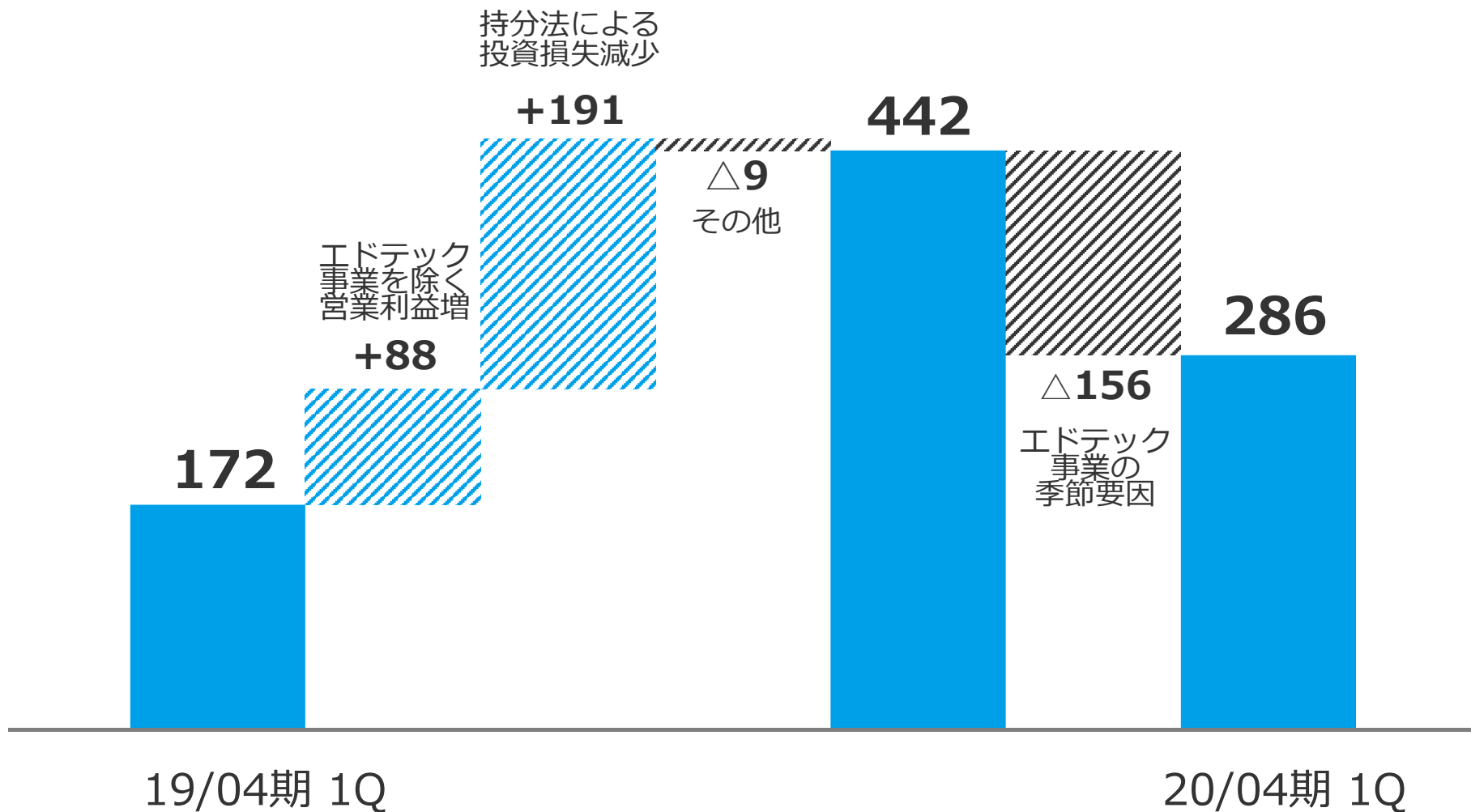
エドテック事業開始により、従業員数は前年同期比26.9%増

(単位：人)



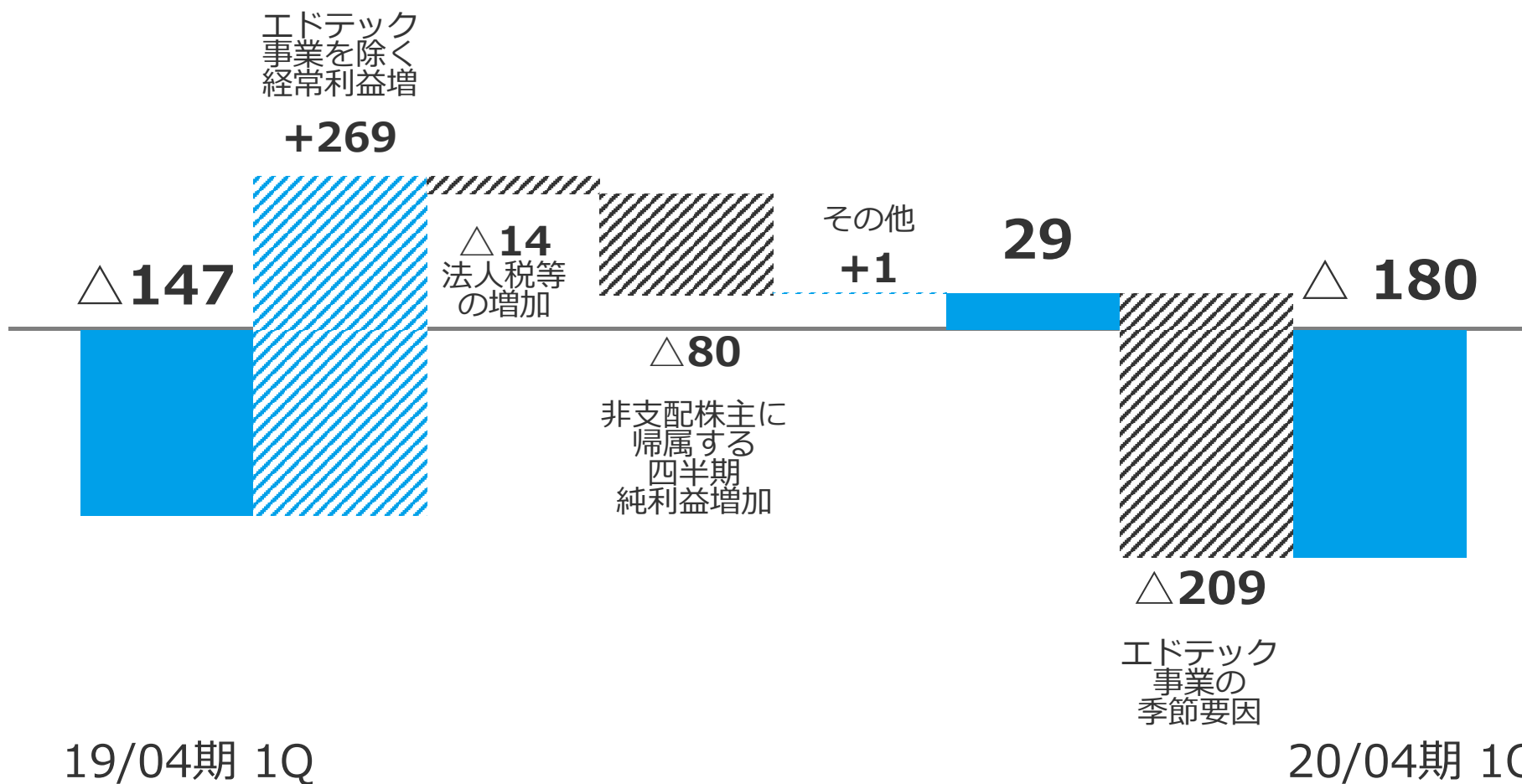
持分法による投資損失減少等により前期比66.1%増

(単位：百万円)



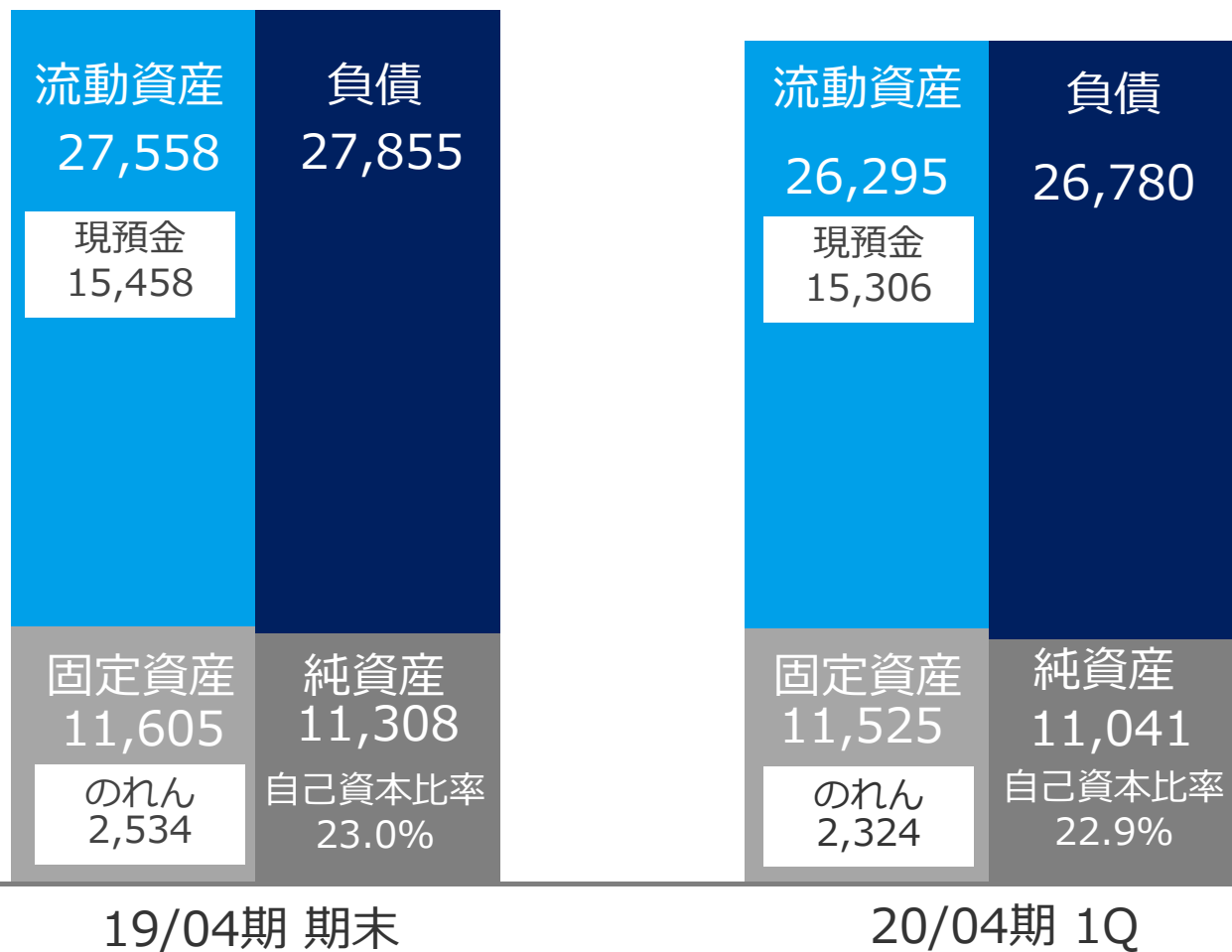
非支配株主に帰属する四半期純利益増加等により前年同期比 32百万円減

(単位：百万円)



のれん8.3%減、純資産2.4%減

(単位：百万円)



2. 2020年4月期 第1四半期 セグメント別業績及び事業進捗

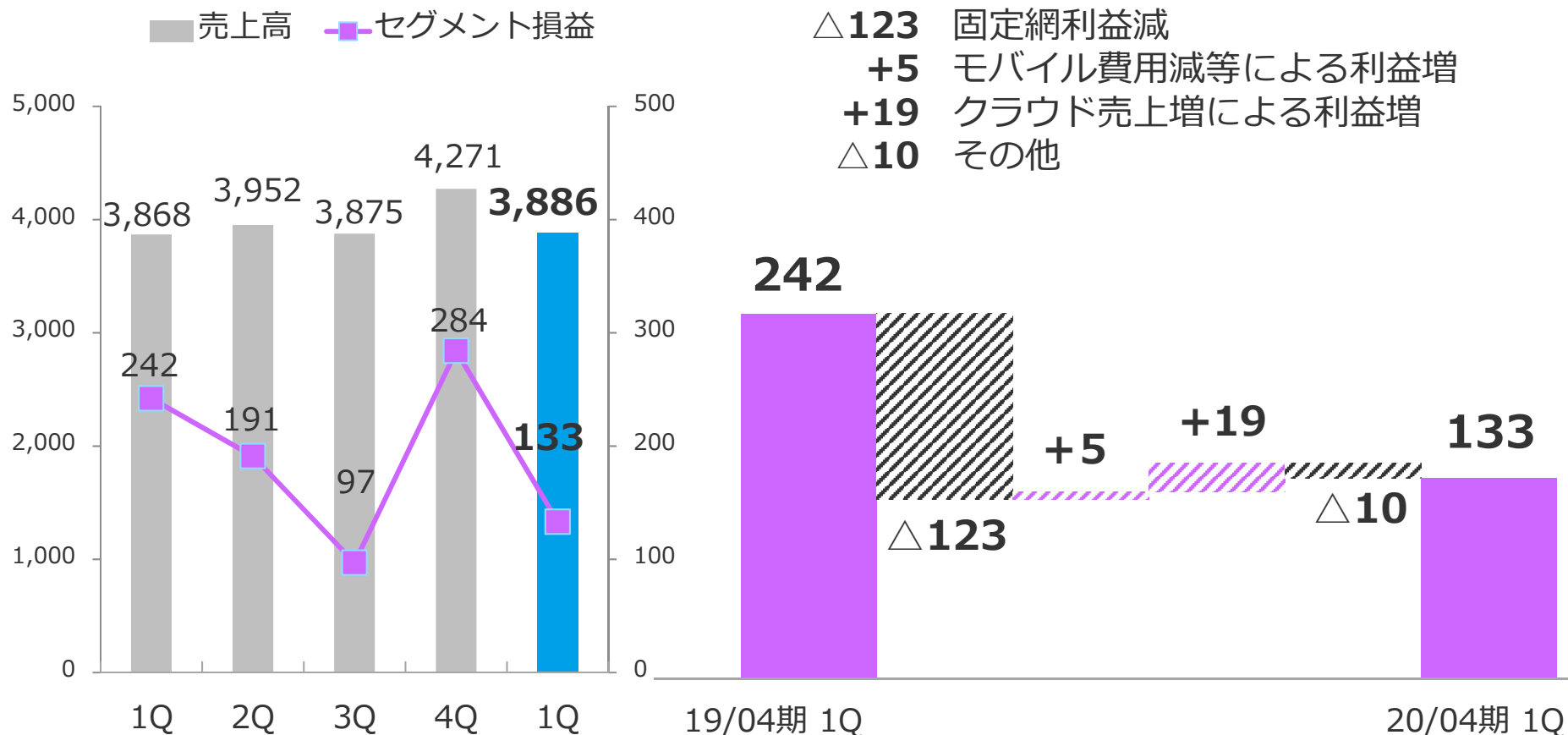
前年同期比 売上高0.5%増、セグメント損益45.1%減

売上微増も、固定網利益減等により減益

(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

セグメント損益前期比差異分析



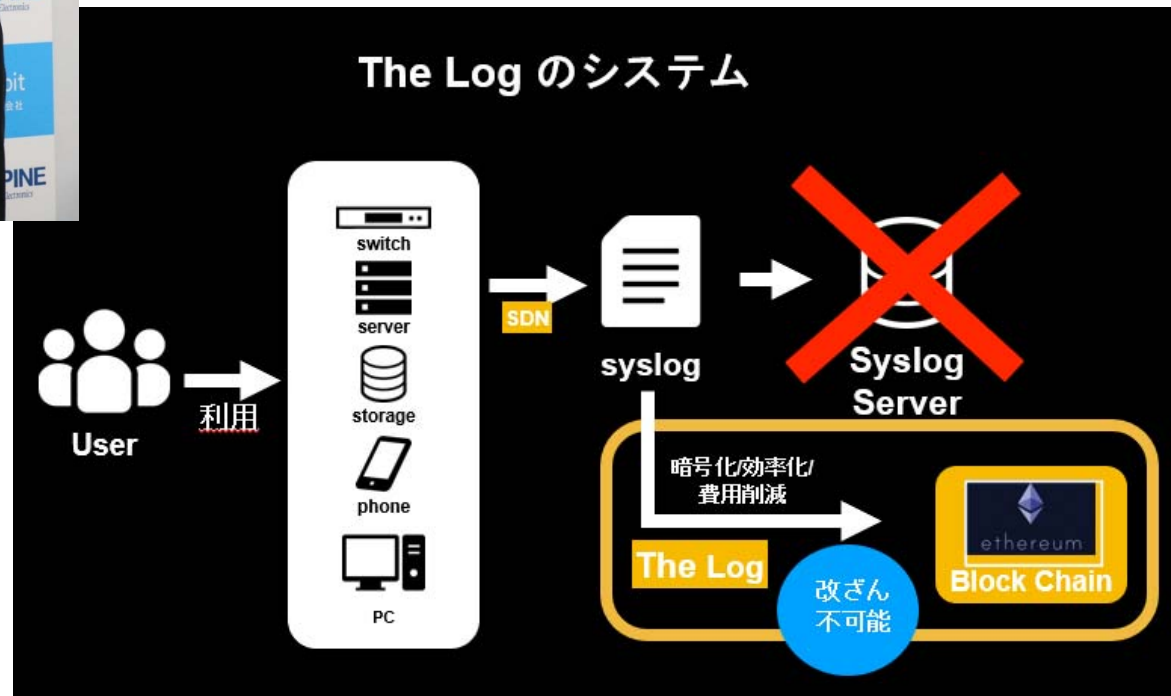
アルプスアルパイン株式会社との業務提携契約を締結

CASE/MaaS時代の「シームレスカーライフ」実現に向け、CaaS (Car as a Service) をコンセプトにアルプスアルパイン(株)と包括的提携を発表



7月23日発表

アルプスアルパイングループとの協業により、インターネット/IoTインフラの改ざんリスク対策の基礎技術「The Log」を発表



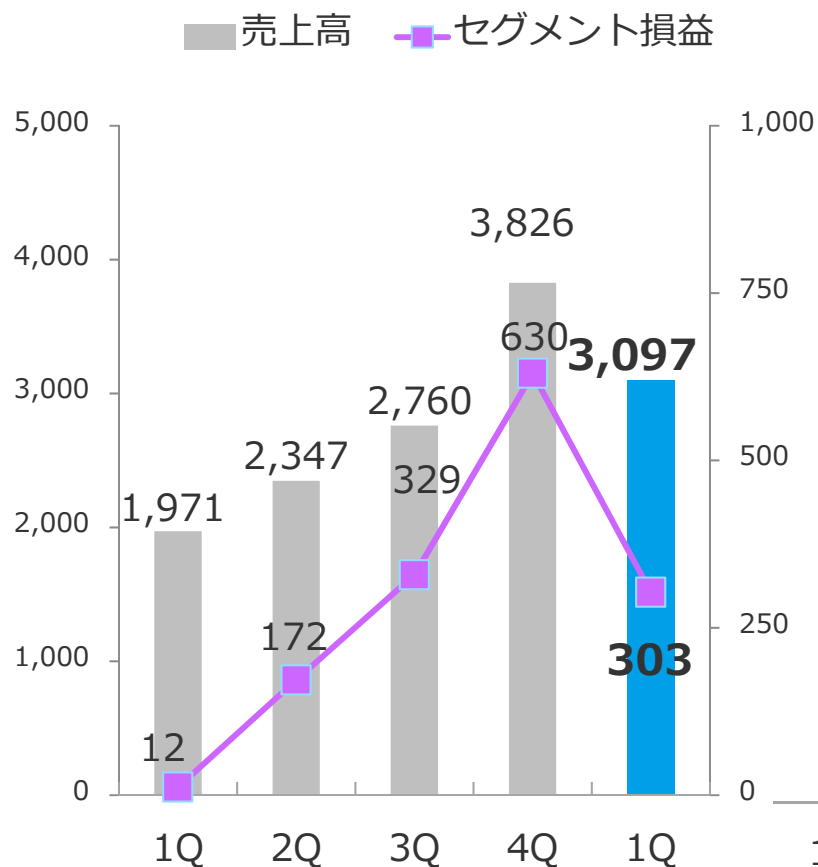
前年同期比 売上高57.1%増、セグメント利益大幅増

マンションインターネットの堅調な推移により増収増益

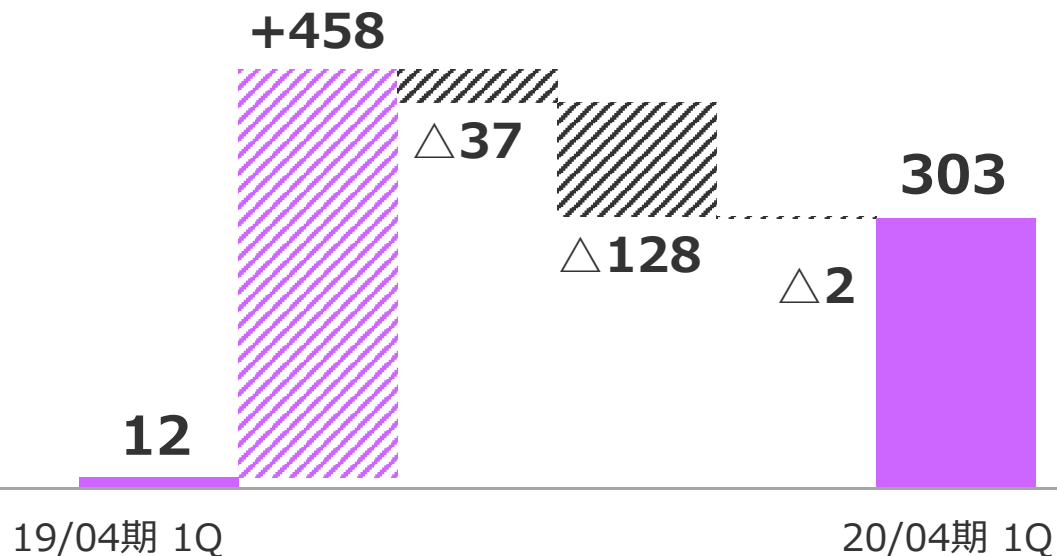
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

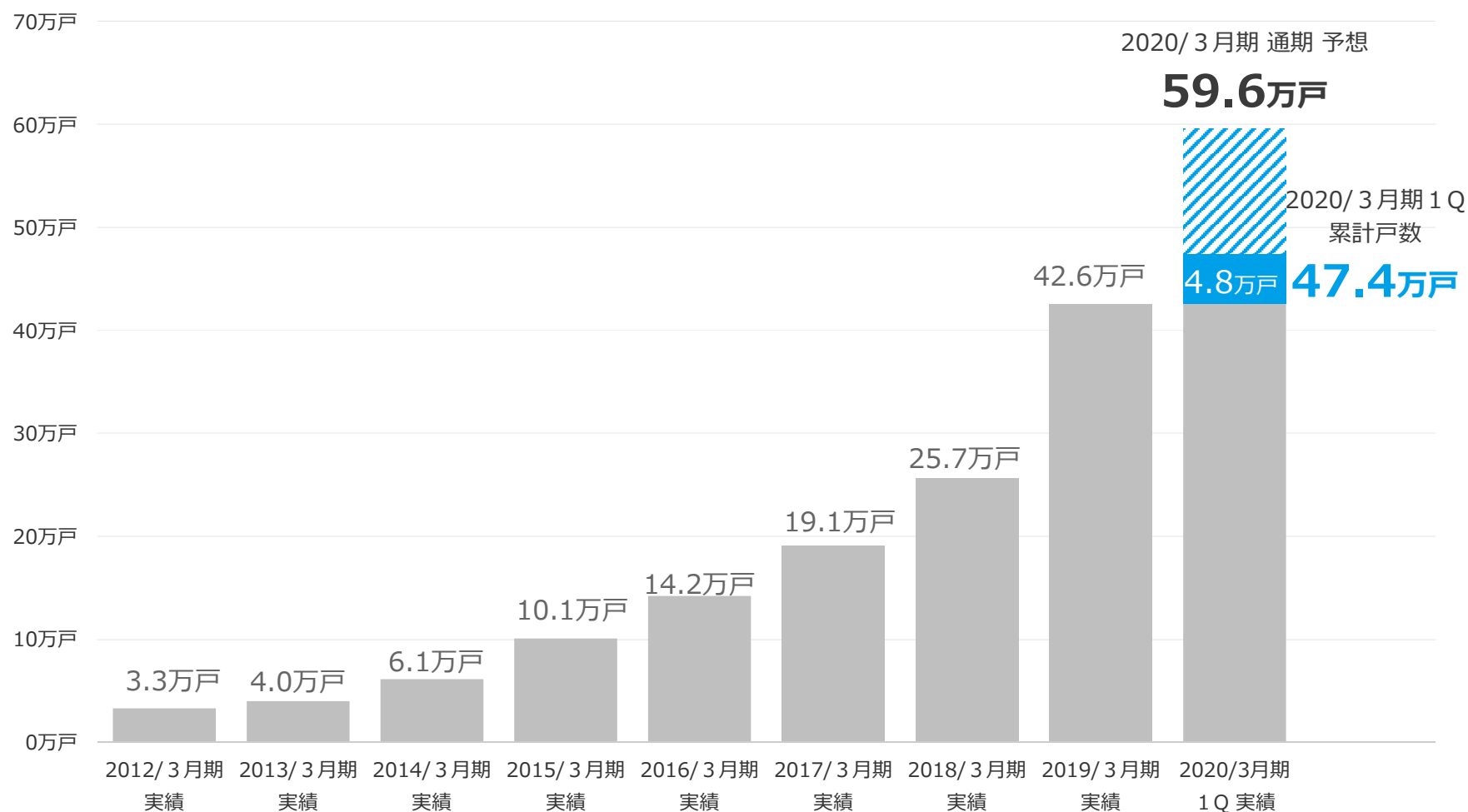
セグメント損益前期比差異分析



- +458** GPG売上増による粗利増
- $\triangle 37$ GPG販管費増
- $\triangle 128$ 子会社への先行投資等による事業損失
- $\triangle 2$ その他



サービス提供戸数は、前年同期比92%増の4.8万戸を達成
今期予想累計戸数59.6万戸に向けて順調に推移



前年同期比 売上高8.3%増、セグメント損益27.9%減

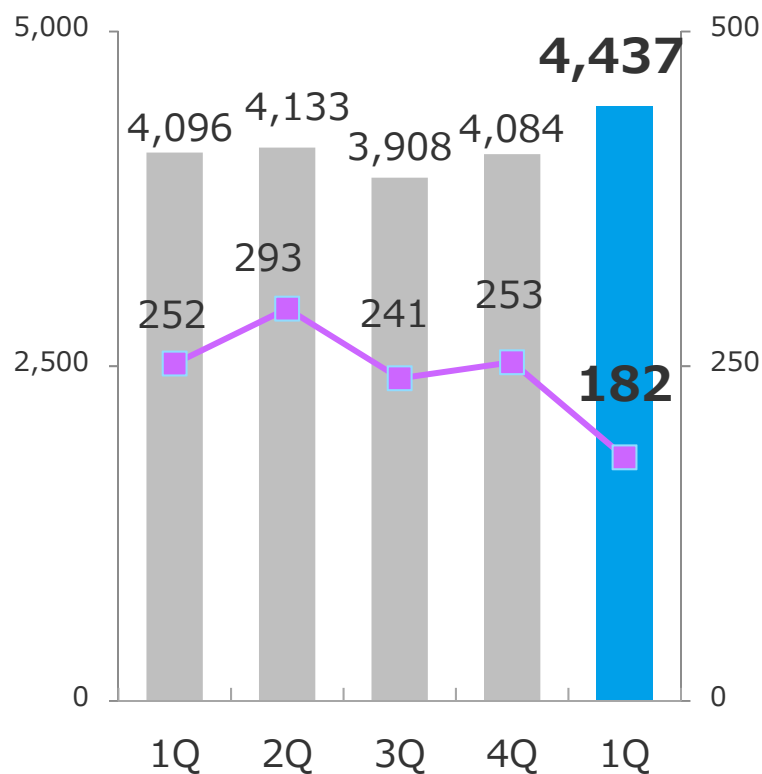
戦略ドメイン領域への先行投資(人件費増加)により減益

(単位：百万円)

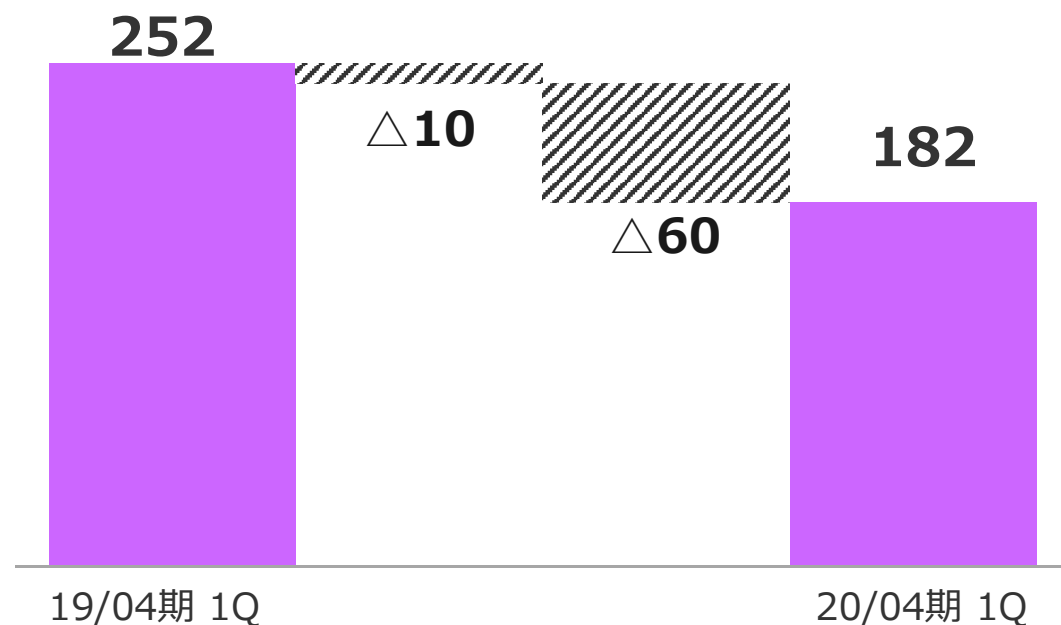
売上高・セグメント損益

セグメント損益前期比差異分析

■ 売上高 ■ セグメント損益



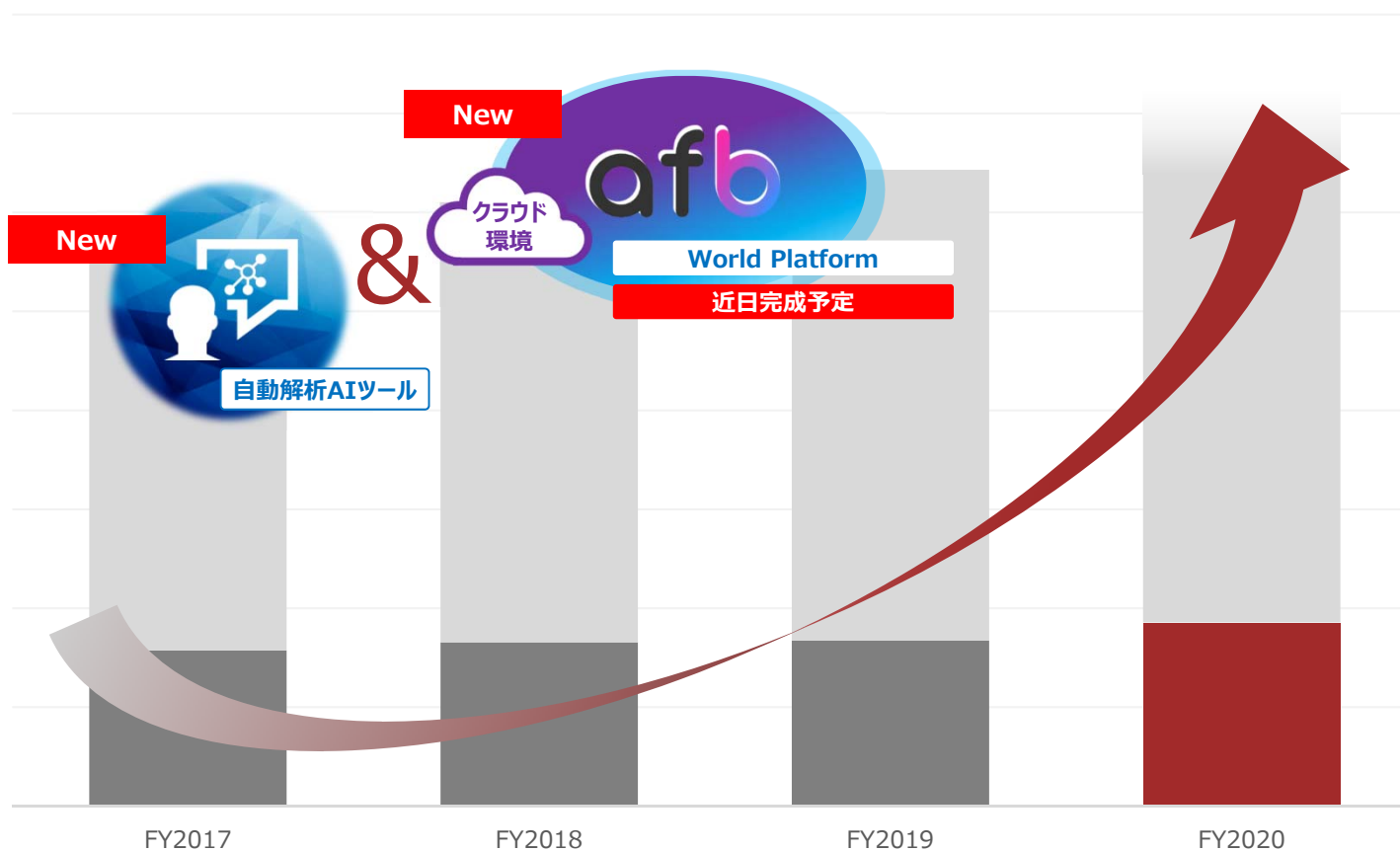
- △10 FSG粗利率減に伴う利益減
- △60 FSG人件費及び業務委託費増等





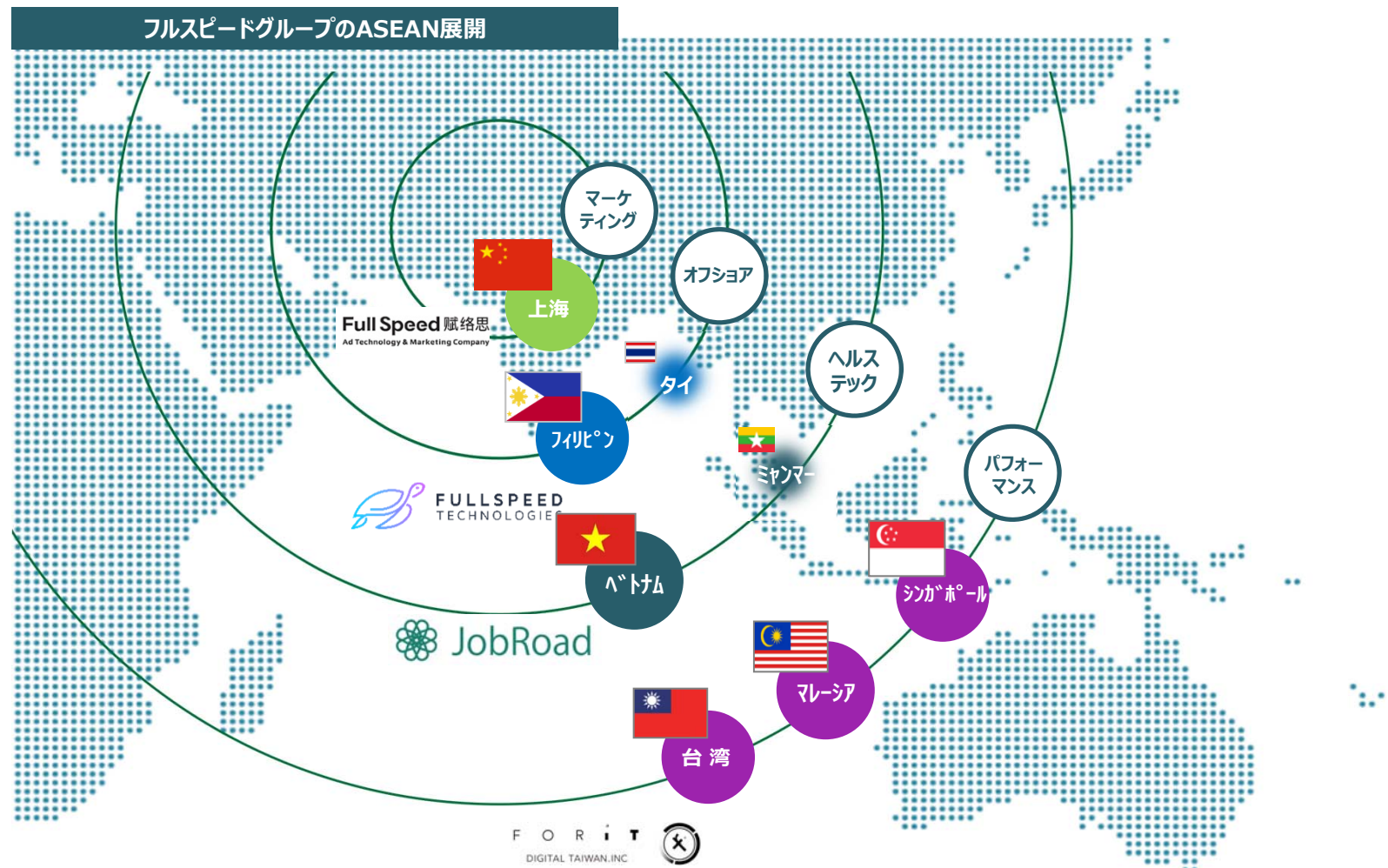
市場環境の変化に適応した事業開発により増収を実現

広告クリーン化・健全化の対応強化、ASEANエリアの事業拡大などにより増収を実現



フルスピードグループ各社がASEAN展開に本格着手

パフォーマンスマーケティング、越境/インバウンドマーケティング、オフショア、ヘルステック等複数ドメインで同時展開へ

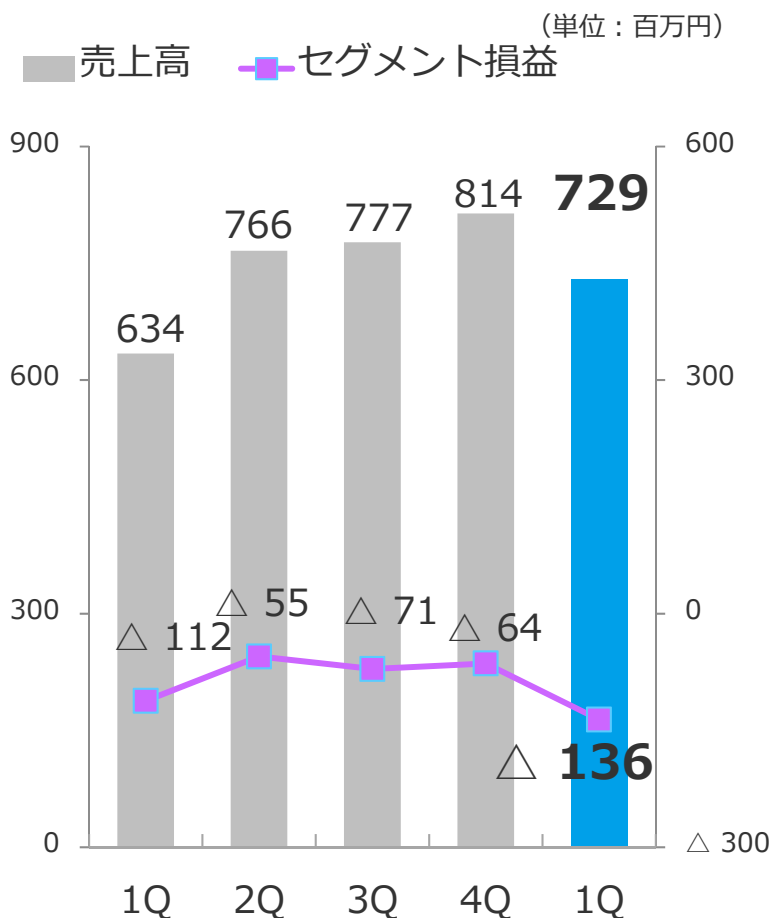


FBEPHの成長により売上高は前年同期比14.9%増を達成

FBヘルステック事業の体制強化等により、セグメント損益は前年同期比24百万円減

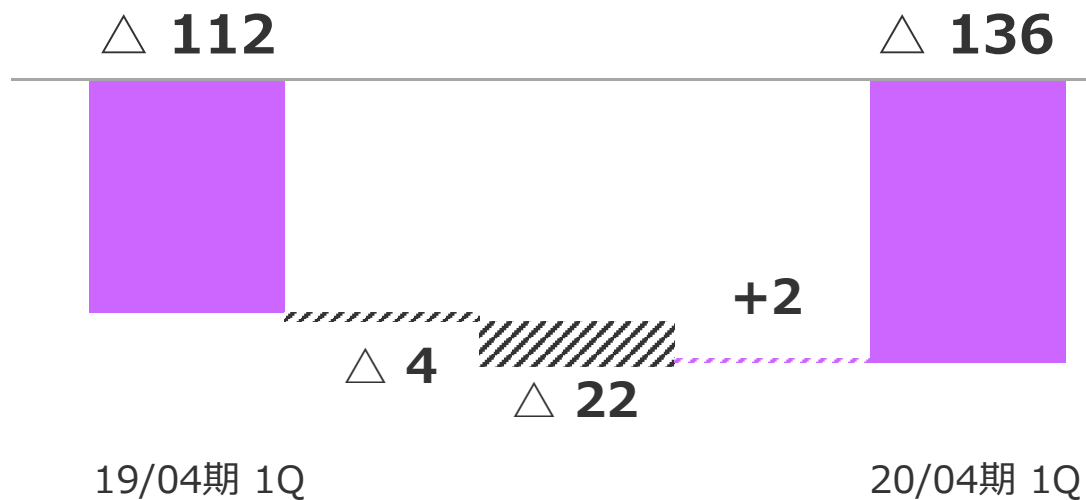
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前期比差異分析

- △4 FBEPHショット収益の減少等
- △22 FBヘルステック事業の体制強化
- +2 その他



月間薬局予約件数は順調に推移



薬局 & ドラッグストア検索・予約サイト

くすりの窓口コンテンツ

処方箋
ネット受付



おくすり
宅配予約



くすりの窓口
クーポン



ジェネリック
検索



ファーマシーサポートの6つの機能

予約管理



お薬手帳
管理



顧客管理



決済機能



経営支援



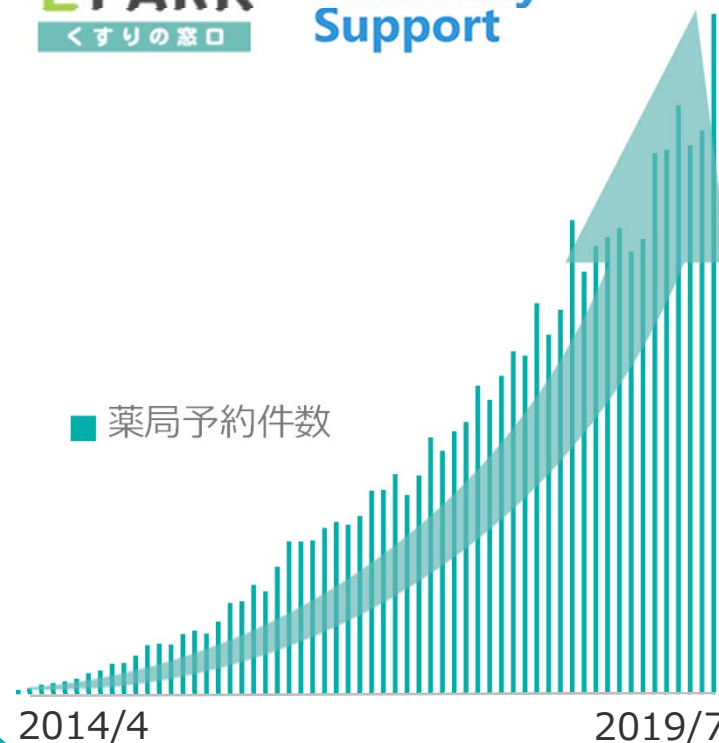
みんなの
お薬箱



月間薬局予約件数



Pharmacy
Support



EPARKお薬手帳は累計ダウンロード数75万件を突破



EPARKお薬手帳

アプリから調剤予約

調剤薬局で待たずに受け取り

家族の薬もまとめて管理

お薬情報をいつでもみられる

EPARKお薬手帳累計ダウンロード数

75万超

■ 累計ダウンロード数

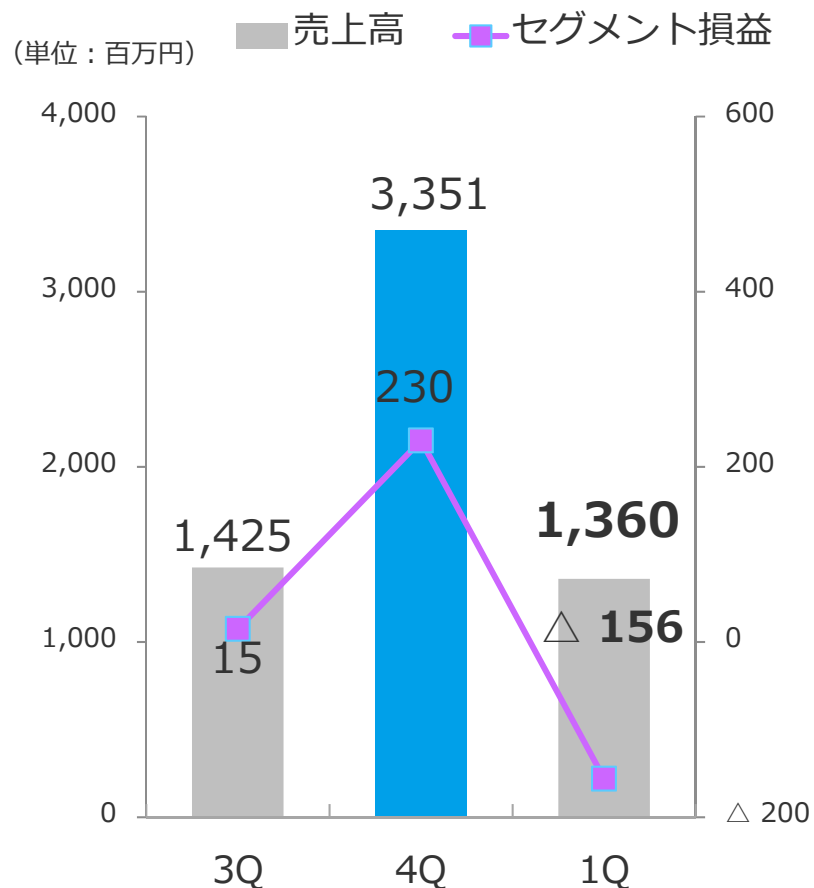


時期	累計ダウンロード数
2016/1	約10,000
2016/7	約20,000
2017/1	約40,000
2017/7	約70,000
2018/1	約120,000
2018/7	約200,000
2019/1	約350,000
2019/7	75万超

キッズ向け英語教育や国内研修が堅調に推移

アルクの季節要因及び決算期変更に伴う前第4四半期6カ月分計上により前四半期比減

売上高・セグメント損益



アルクは3,800社の研修プログラム導入実績を誇るグローバル人材育成の総合ソリューションパートナー



※2019年4月期は、アルクの決算期変更に伴い4Qに11月～4月までの6カ月分を計上

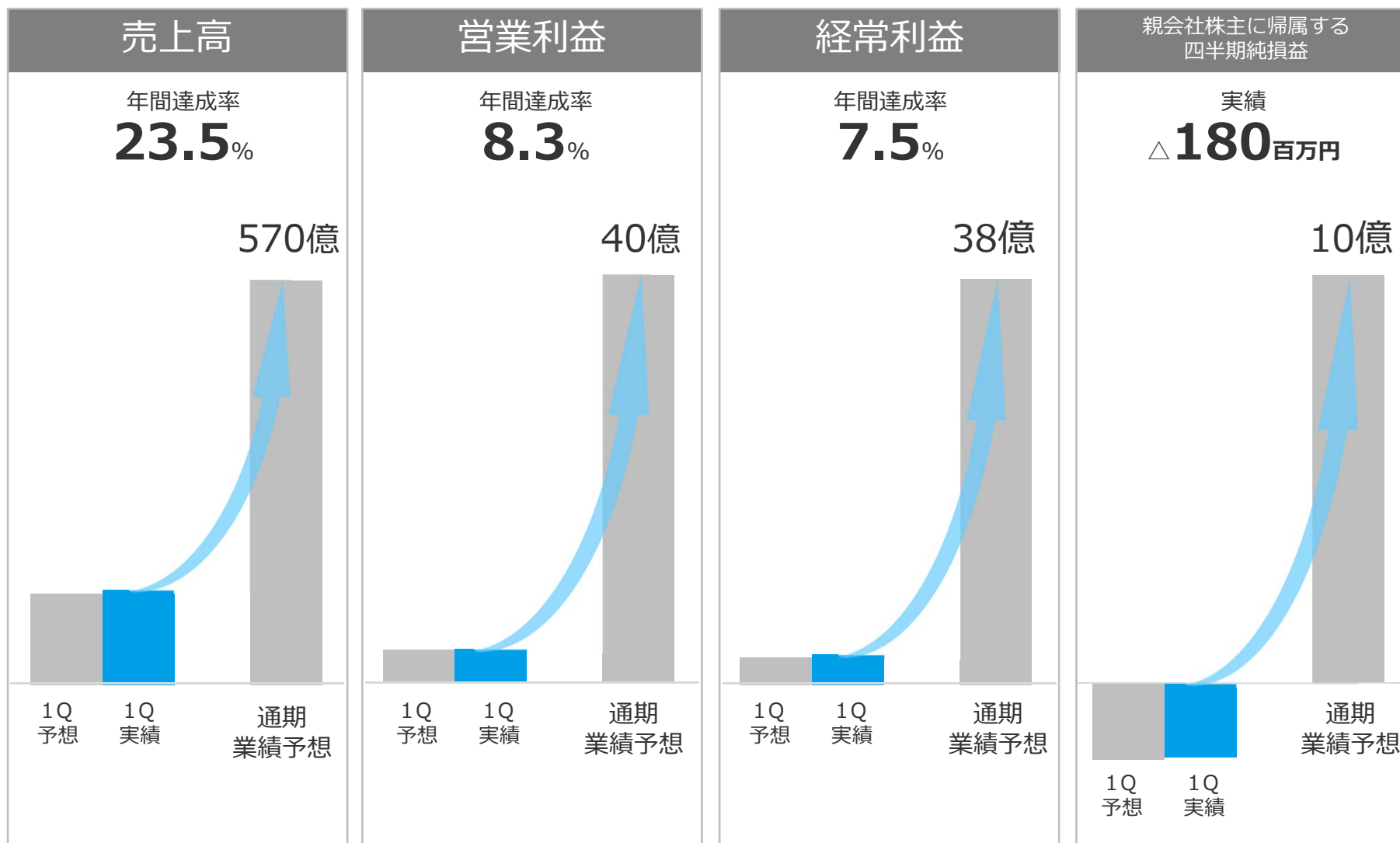
3. 2020年4月期 連結業績進捗

Being The NET Frontier!

インターネットをひろげ、社会に貢献する

インフラテック	<ul style="list-style-type: none">・アルプスアルパイングループとの協業により、インターネット/IoTインフラの改ざんリスク対策の基礎技術「The Log」を発表・コンシューマー向けIPv6(IPoE)接続サービスの対応を開始・法人向けクラウドビジネスフォン「モバビジ」の拡販を強化
不動産テック	<ul style="list-style-type: none">・マンションインターネットは、提携先大手ハウスメーカー向け提供戸数が増加。さらなる売上拡大を企図し付加価値を提供できるIoTサービスを拡充・不動産事業はイオンハウジングネットワーク加盟店の店舗展開を促進
アドテック	<ul style="list-style-type: none">・パーソナライズ化で見込み客を顧客にする独自プロダクトCROを開発・ヘルスケア領域に最適化された「ヘルスケア特化型CRMサービス」を開始
ヘルステック	<ul style="list-style-type: none">・「EPARKお薬手帳」のダウンロード数が順調に推移。普及を加速させメディアのPV数、集客数及び提携薬局数継続成長・FBヘルステック事業において、シェア拡大に向け介護施設向け介護記録システム機能の拡張
エドテック	<ul style="list-style-type: none">・研修事業とキッズ向け英語教育事業が堅調に推移

第1四半期は計画を上回り推移



本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社
グループ経営管理本部 IR担当
Email freebit-ir@freebit.net
WEB <https://freebit.com/>



毎日、発明する会社

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。